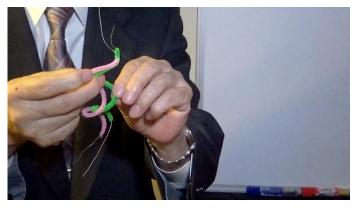




■らせん状の αヘリックスには 酸性のタンパク質(赤)とアルカリ性のタンパク質(青)の2種類があり、それぞれ、ら せんを巻いている。



■らせんを巻いた<mark>酸性のタンパク質(赤)</mark>と アルカリ性のタンパク質(青)が、お互いに 相寄って、またらせんを巻いていく。



■らせんを巻いた2本のタンパク質が、またらせんを巻くことで、2本のコイルド・コイル構造を作っている。 (コイルド・コイル=coiled-coil)



■先端には、らせんを巻かない、4本のヒゲのようなものが出ている。これは規則構造を持たない。この4本のヒゲのようなものを含めたものが、IFの最小単位である。